

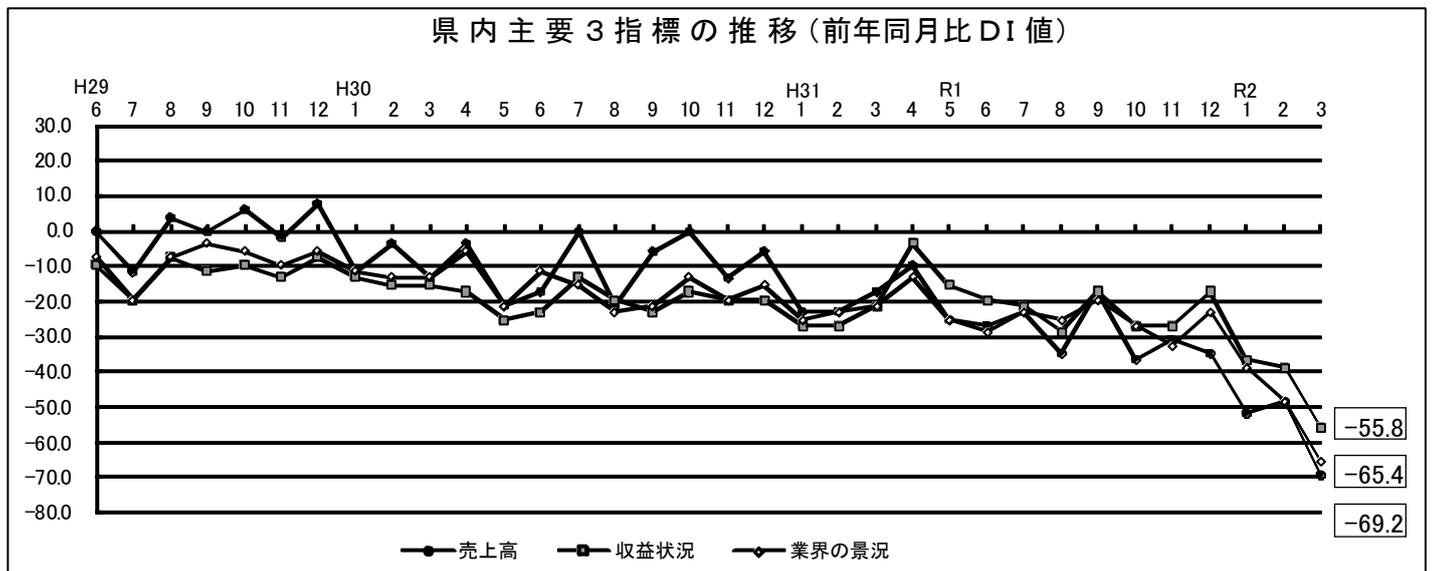
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和2年3月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 3月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中8指標が下降した。新型コロナウイルスの影響が経済活動に与える影響が大きくなっており、特に「売上高」については平成23年以来の大幅な減少を示している。
- すべての業種で新型コロナウイルスの影響が大きくなり厳しい状況となっている。イベントの中止・延期や活動自粛等により経済活動が制約されたことで売上高が減少している。更に資金繰りの問題も懸念されている。
- 製造業では、資材調達の困難化や加工工場の休業、長期生産の受注減少により先行き不安が高まっている。非製造業では、資材不足から工事の遅延発生が起こっており、一部にはマスクや消毒液の不足が事業活動に支障を与えているとの声も聞かれている。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-69.2	-21.1	-58.5	-15.1
収益状況	-55.8	-17.3	-57.0	-14.2
業界の景況	-65.4	-17.3	-63.2	-12.6

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より21.1ポイント下降し、-69.2ポイントとなった。全国においては、前月より15.1ポイント下降し、-58.5ポイントとなった。

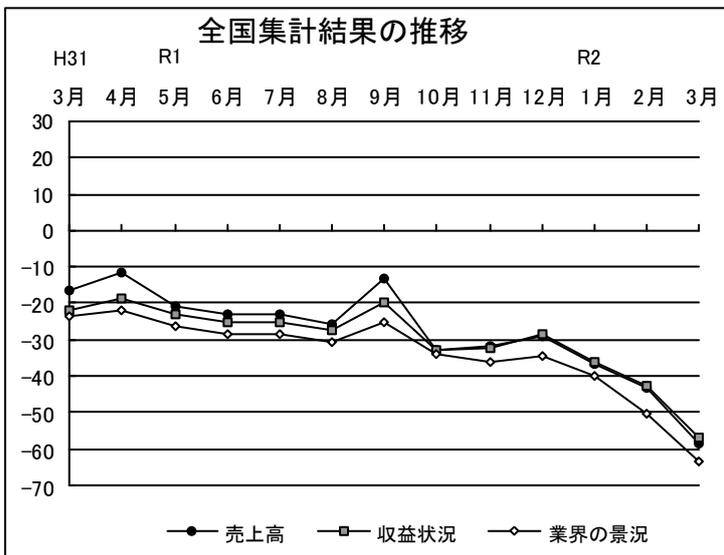
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より17.3ポイント下降し、-55.8ポイントとなった。全国においては、前月より14.2ポイント下降し、-57.0ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より17.3ポイント下降し、-65.4ポイントとなった。全国においては、前月より12.6ポイント下降し、-63.2ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

3月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「在庫数量」の1指標が上昇し、「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の8指標が下降した。主要3指標はすべて下降し、特に「売上高」の-69.2ポイントは、平成23年以来の9年ぶりの厳しい数値である。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中1業種が上昇、4業種が下降し、非製造業で6業種中3業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中1業種が上昇、3業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、3業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が下降し、非製造業で6業種中4業種が下降した。

いずれの業種も新型コロナウイルスの影響が大きくなっている。前月に引き続きイベントや会合の延期・中止が相次いでいる他、売上高の減少に伴い収益状況も悪化している。また、資材調達の困難化や操業時間の短縮等で影響があり、今後の資金繰りや受注を心配する声も上がっている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	×	△	△	×
繊維・同製品	×	△	△	△	×	×	×	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	×	△	△	△	△	△	○	△	△
鉄鋼・金属	×	×	△	△	×	×	×	△	×
一般機器	×	△	△	△	×	×	×	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	×
小売業	×	△	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	×	△	—	△	×
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	×	—	△	△	×	×	—	△	×
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	×

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	25.0	0.0	-25.0	-75.0	-75.0	-25.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	-75.0	0.0	-25.0	-25.0	-75.0	-50.0	-75.0	0.0	-100.0
木材・木製品	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-75.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-100.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	-50.0	-50.0	0.0	-75.0
一般機器	-100.0	25.0	0.0	0.0	-75.0	-50.0	-75.0	0.0	-75.0
製造業	-64.0	-4.0	-12.0	-12.0	-48.0	-40.0	-28.0	0.0	-64.0
卸売業	-33.3	33.3	0.0	-33.3	-33.3	0.0	-	0.0	-66.7
小売業	-100.0	-28.6	-14.3	-28.6	-100.0	-85.7		0.0	-85.7
サービス業	-100.0	-	-33.3	-33.3	-100.0	-33.3		-33.3	-66.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-100.0		0.0	0.0	-50.0	-50.0		0.0	-100.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-50.0
非製造業	-74.1		-10.0	-11.1	-18.5	-63.0		-37.0	-7.4
全体	-69.2	-5.7	-11.5	-15.4	-55.8	-38.5	-28.0	-3.8	-65.4

図表3～【指標別DI値の推移】

	3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	前月 比
売上高	-17.3	-9.6	-25.0	-26.9	-23.1	-34.6	-17.3	-36.5	-30.8	-34.6	-51.9	-48.1	-69.2	-21.1
在庫数量	-17.1	-17.1	-28.6	-20.0	-20.0	-14.3	-8.6	-20.0	-14.3	-8.6	-5.7	-14.3	-5.7	8.6
販売価格	-1.9	1.9	3.8	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	-3.8	-3.8	-11.5	-7.7
取引条件	-13.5	-7.7	-3.8	-1.9	-5.8	-9.6	-9.6	-9.6	-11.5	-9.6	-11.5	-11.5	-15.4	-3.9
収益状況	-21.2	-3.8	-15.4	-19.2	-21.2	-28.8	-17.3	-26.9	-26.9	-17.3	-36.5	-38.5	-55.8	-17.3
資金繰り	-11.5	-3.8	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-11.5	-19.2	-13.5	-13.5	-19.2	-17.3	-38.5	-21.2
設備操業度	-8.0	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	-20.0	-20.0	-16.0	-8.0	-12.0	-24.0	-24.0	-28.0	-4.0
雇用人員	-3.8	3.8	0.0	-3.8	-5.8	-3.8	-1.9	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-1.9	-3.8	-1.9
業界の景況	-21.2	-13.5	-25.0	-28.8	-23.1	-25.0	-19.2	-26.9	-32.7	-23.1	-38.5	-48.1	-65.4	-17.3

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	-25.0	25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-75.0	0.0	0.0
木材・木製品	-25.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-75.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	75.0	0.0	25.0	25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0
製造業	-20.0	4.0	0.0	0.0	-12.0	-20.0	-4.0	-4.0	-8.0
卸売業	-33.3	33.3	0.0	0.0	-33.3	0.0		0.0	-66.7
小売業	0.0	14.3	-14.3	-14.3	-14.3	-42.8		0.0	-28.6
サービス業	-50.0		-50.0	-16.6	-83.3	-16.6		0.0	-16.7
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	0.0	-50.0		0.0	-50.0
その他	0.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-22.2	20.0	-14.8	-7.4	-22.3	-22.2		0.0	-26.0
全体	-21.1	8.6	-7.7	-3.9	-17.3	-21.2	-4.0	-1.9	-17.3

特記事項

情報連絡員報告（令和2年3月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	大変厳しい状況が続いている。3月・4月は行事が多く、通常であれば菓子需要が高まる時期であるが、新型コロナウイルスの影響により非常に大きな打撃を受けている。
あん類製造業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため外出が自粛となったことから、店頭でのお土産物等の売上が減少したことに伴い、売上高減少や収益状況悪化等の悪影響が出始めている。
酒類製造業	組合員資格業種が廃業に追い込まれた組合員が出てくるなど、厳しい状況となっている。また、新型コロナウイルスの影響により、売上高減少及び収益状況悪化が引き起こされており、景況感も悪化している。
縫製業	新型コロナウイルスの影響が非常に大きく、5月以降の受注が例年の半分以下まで落ち込んでいる。3月生産分までは計画生産により順調に推移していたが、現在は全く予定が立てられない状況である。3月後半の週末は販売先が休日であり出荷ができなかったため、今後は在庫過多になる懸念がある。
外衣・シャツ製造業	先月同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から祭りやイベント等が自粛となった影響により、繊維業界全体が大きく落ち込んでいる。
染色整理業	売上高及び受注数の減少が著しく表面化してきた。長期生産の受注が減少していることに加え、新たな受注が見込めないなど、厳しい業況となっている。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	先月同様、国内外の繊維業界は新型コロナウイルスの影響を大きく受けており、資材調達の困難化や加工工場の休業等により、組合員も取引先も業績悪化の一途である。そのような異常状態であるが、マスク資材（生地とゴム紐）が不足していることに伴い、その代用品としてレースが扱われることもあり、ごく一部ではプラス要因となっている。一刻も早く平常な日常・雰囲気を取り戻したい。
家具・建具製造業	新型コロナウイルスの影響により、売上高及び在庫数量が減少している。この傾向は今後さらに強まることが予想され、収益状況悪化や資金繰り悪化が懸念される。また、外国人材の来日が遅れていることから、生産ラインへの影響懸念が強まるなど、多くの組合員が今後の事業活動に悲観的な予想をしている。
建具製造業	動きの出る年度末であったため、売上高こそ増加したものの、新型コロナウイルスへの対応に苦慮しており、今後の大幅な業績低下が懸念される。また、同地域において同業者の倒産が相次ぐなど、全体的に厳しい状況が続いている。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。現時点では、定期刊行物に関しては新型コロナウイルスの影響は出ていないが、売上の大きな比率を占めているイベント告知関係や広告チラシ印刷物等でのキャンセルが出てきており、今後もこの傾向は継続が予想されることから、収益状況悪化等の懸念が強まっている。
石灰製造業	鉄鋼関係は減産傾向のため出荷減となった。肥料関係は昨年並みで推移した。建材関係は新型コロナウイルスの影響で工事物件がストップし始めたことに伴って減少となった。全体的には減少傾向となった。
陶磁器製造業	新型コロナウイルスの影響により、陶芸教室等が休みになったため、売上高が減少した。
金属製品製造業	家電関係のうちエアコンが季節的要因により減産となり、自動車関係が新型コロナウイルスの影響により減産となった。
金属製品製造業	新型コロナウイルスの影響等による売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	新型コロナウイルスの影響が徐々に出てきており、今後のさらなる悪化が予想される。また、材料等の仕入の困難化も懸念される。
一般機械器具製造業	売上高がやや減少し、それに伴い収益状況もやや悪化した。資金繰りが悪化傾向にある組合員も出てきている。また、新型コロナウイルスの影響による日本経済全体の悪化も懸念されているため、今後も業況を引き続き注視していく必要がある。
一般機械器具製造業	新型コロナウイルスの影響により、取引先からの受注が減少し、売上高減少及び収益状況悪化が引き起こされている。
一般機械器具製造業	新型コロナウイルスの影響が大きく、大企業の操業短縮・停止等により、下請け・孫請けの中小・小規模事業者にとっては大変厳しい状況となっている。

各種商品卸売業	一部の組合員において、新型コロナウイルスの影響による売上高減少及び収益状況悪化がみられる。什器備品賃貸関係においては、新型コロナウイルスの影響でホテル・旅館業が苦境していることに伴い、大幅な売上高減少となっている。建築・リフォーム関係においては、新型コロナウイルスの影響で中国工場が停止し、トイレ、ユニットバス、システムキッチン等が輸入されないことに伴い、工事に遅れが出ている。
各種商品卸売業	弁当仕出し関係では全体的に注文が減少している。水道設備関係ではトイレ、システムキッチン等の関連部品が入荷しないために工事の遅延が発生している。輸入家具販売関係では輸入家具の到着遅れ及び販売不振が発生している。食料品卸売関係では菓子業者への砂糖や小麦粉等の販売不振が発生している。
食肉小売業	新型コロナウイルスの影響により、ホテル・レストラン・居酒屋等において宴会等のキャンセルが相次いだことに伴い、食肉の売上高が減少している。また、学校給食の停止や事業者用弁当の販売不振等によっても売上高減少が発生しており、先行き不安が高まっている。
中古自動車小売業	新型コロナウイルスの影響により、海外輸出が軒並み停止となったうえ、販売店への人の動きも低下している。中古車オークションでは、買い手不在状況となったことで成約数が減少し、相場も下落している。高級車であっても値が付かない車両が出てくるなど、厳しい状況が続いている。今後、在庫の回転も鈍くなることが予想され、資金繰りへの不安が高まっている。
各種商品小売業	先月よりさらに新型コロナウイルスの影響が出てきており、飲食店の大幅な客数減少及び売上高減少が発生している。人通りも平常時より大きく減少している。
各種商品小売業	全体として3割以上売上高が落ち込んだ。日を追うごとに状況が悪化する一方である。
花・植木小売業	例年3月は、桃の節句、卒業式、結婚式、お彼岸といった一年で最もお花が使われる時期であるが、今年は関連行事・イベント等の中止や延期、縮小等により売上高が大きく減少した。新型コロナウイルス感染拡大による景気の低迷や資金繰り悪化が強く懸念される。
理容業	新型コロナウイルスの影響により、客数が減少している。衛生面で最善の注意を払っているが、マスクやアルコール消毒剤等の入手が困難になっており、事業活動に支障が出ている。
自動車整備業	繁忙期であったが、単価の減少により、売上高が減少した。雇用人員を増加したため、労務費及び固定費の増加が目立つ結果となった。
旅館・ホテル	新型コロナウイルスの影響により、宿泊関係は壊滅的な状況、宴会関係は95%ダウン、飲食店関係は70%ダウンとなっている。4月はさらなる業績悪化が確実視されており、大変厳しい状況が続いている。
ビルメンテナンス業	ビルメンテナンス業務において、定期清掃やレンタルマットなどの売上高が減少したため、全体的に減収減益となった。新型コロナウイルスによる売上高等への影響は、現時点では出ていない。
給食センター	新型コロナウイルスの影響等により、売上高が大幅に減少した。キャッシュフローについては、栃木県の制度融資等を活用して辛うじて保っているが、今後も新型コロナウイルスによる混乱が終息しないままであると、収益状況も資金繰りも悪化することが予想され、厳しい景況となっている。
管工事業	住宅設備製品の中国での生産依存度が高いことから、3月までは各事業者の在庫により対応できたが、4月以降は厳しい在庫状況が予想される。また、完成工事の遅れから、売上高減少も懸念される。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは10.1%減、敷物用ラベルは8%減、壁装用ラベルは7%減であった。4月の動きに期待している。
一般貨物自動車運送業	取引先よりマスクの着用及び手指のアルコール消毒を要請されているが、マスクもアルコール消毒剤も入手困難であり、物流業界全体の課題となっている。新型コロナウイルスの影響により、冷食ニーズの増加や原油価格の下落が一時的に好転材料となっているが、全体的には売上高が大きく減少しており、今後の先行き不安は高まっている。
貨物軽自動車運送業	引越し依頼は例年通りであったが、新型コロナウイルスの影響により、自動車関連や精密機械関連等の配達は激減した。一方、生鮮食品・菓子・ドリンク等の配達は増加した。全体的には景況感は悪化しており、先行き不透明感が強まっている。
一般貨物自動車運送業	新型コロナウイルスの影響により、輸送の減少が発生している。
一般乗用旅客自動車運送業	40%～50%の売上高減少となった。日を増すごとに売上高は減少している。組合員の年齢層が高く、新型コロナウイルスの感染が非常に心配である。
大谷石採石業	観光事業に力を入れている組合員において、客数が激減している。また、マスク不足が深刻であるという声が多く聞かれた。